



川薩地区1市4町4村

川内市・樋脇町・入来町・東郷町・祁答院町  
里 村・上郷村・下郷村・鹿島村

# 法定合併協議会だより

2004  
第14号  
平成16年9月発行

発行責任者：川薩地区法定合併協議会／会長 森 卓 朗／編集：川薩地区法定合併協議会事務局 川内市神田町3番22号  
TEL.0996-23-5111 FAX.0996-22-6295 E-mail info@sensatu-gappei.kagosima.jp ホームページアドレス http://www.sensatu-gappei.kagosima.jp/

## 新市の市章募集に3012点



第21回法定合併協議会を開催  
(樋脇町内)



### 樋脇町のごみ処理方針を 委託方式から直轄方式に変更

川薩地区法定合併協議会の第二十一回協議会は八月二十六日、樋脇町内で開かれ、串木野樋脇清掃組合調整方針の変更について承認したほか、薩摩川内市の市章募集結果や条例の専決等について報告が行われました。

現在、樋脇町のごみについては、串木野市と樋脇町でつくる串木野樋脇清掃組合が処理していますが、昨年十二月、合併後は串木野市にごみの処理を委託する委託方式とすることで調整方針を確認していました。その後、財産処分時期をめぐって串木野市側と調整が難航したため、薩摩川内市のごみ処理施設で処理する直轄方式に変更することで、八月二十日に串木野市側と合意したものです。

この問題について法定合併協の森卓朗会長は「直轄方式にすることで将来的には新市の財政負担は減ってくる。ごみ処理について樋脇町の住民サービスを低下させないよう取り組みたい」と語りました。

また、六月一日から七月三十一日まで募集した市章の募集結果を報告。千五百四十七人から三千十二点の応募があり、小委員会では五程度に絞り込み、九月三十日の第二十二回協議会で協議した後、新市へ引き継ぎ十二月ごろをめどに決定することになります。

# 協議事項

## ◆串木野樋脇清掃組合調整方針の変更について

【変更前】  
(平成15年12月24日確認済み)

…略…  
2 串木野樋脇清掃組合の構成団体である樋脇町については、合併の日の前日に当該組合を脱退する。当該組合は、組合構成団体が一団体となるため解散することになる。

新市における旧樋脇町の区域は合併の日に串木野市に委託することとし、委託料の額及び財産の取扱いについては当該組合及び構成団体の協議を行い、合併までに調整する。

### 【変更後】

…略…  
2 串木野樋脇清掃組合の構成団体である樋脇町については、合併の日の前日に当該組合を脱退する。当該組合は、組合構成団体が

一団体となるため同日に解散することになる。新市における旧樋脇町の区域は合併の日から新市の直轄事業とする。

解散に伴う財産処分、職員の取扱いについては、次のとおりとする。

#### (1) 財産の取扱い

串木野樋脇清掃組合の解散に伴う同組合の財産については、全て串木野市に帰属させる。ただし、財政調整基金については、組合負担金の負担割合により、構成市町へ帰属させる。

#### (2) 職員の取扱いについて

出向職員については、構成市町へ帰属させる。

…略…

# 報告事項

## ◆条例の専決等について

行政執行あるいは住民サービス上から、新市の市長職務執行者の専決処分により合併時に即時制定し、施行する条例は三百十二条例を予定しています。

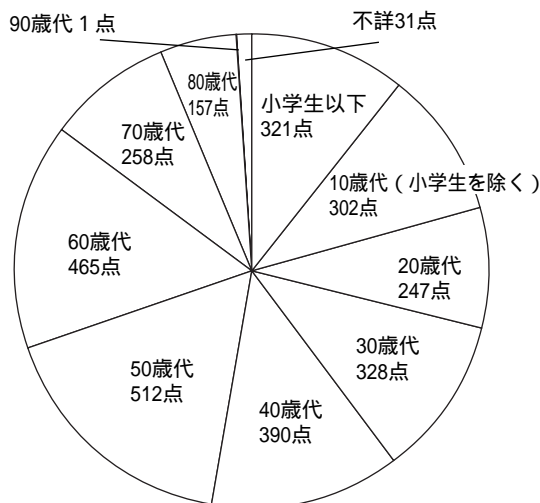
また、旧市町村で施行されていた条例を暫定施行するものは二十四種類四十五条例を予定しています。

## ◆薩摩川内市の市章募集結果

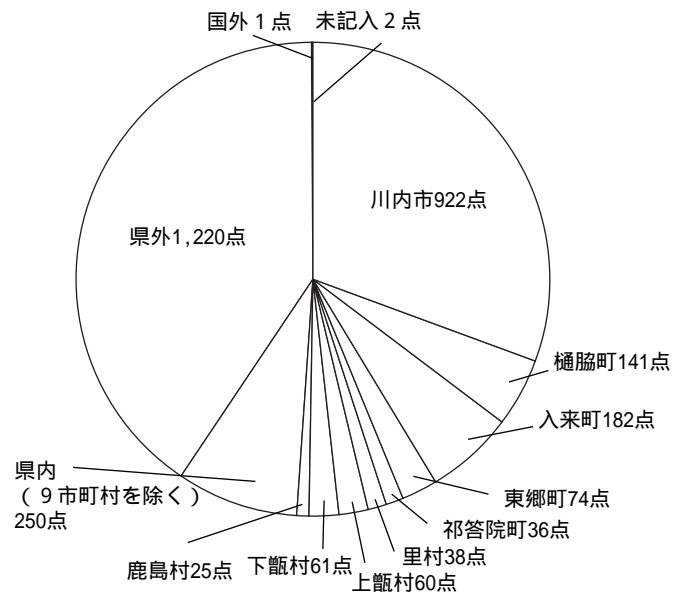
- 募集期間 平成16年6月1日～7月31日
- 応募総数 3,012点
- 応募者数 1,547人
- 男女別応募状況
 

男性	2,041点
女性	536点
不詳	435点

### 年代別応募状況



### ・地域別応募状況



### ・今後のスケジュール

- 9/4 小委員会第3回会議で市章候補5点程度の選定
- 9/30 第22回協議会で協議、協議決定した市章候補を新市に引き継ぐ
- 10/12 合併施行
- 12月ごろ 新市「薩摩川内市」で市章を決定

# 薩摩川内市誕生シンポジウムから

川薩地区法定合併協議会と南日本新聞社の主催で八月八日、川内の鹿児島純心女子大学川内キャンパス江角ホールで、薩摩川内市誕生シンポジウムが開催されました。会場には一市四町四村の住民ら約七百五十人が参加。電通九州地域開発営業部専任部長の岡部博幸氏の基調講演「ほんとはすごい！ 地域ブランドのパワー」と、パネリスト四氏によるパネルディスカッション「私たちに何ができるか」が活力・魅力ある郷土づくりを通じて、新市が持つ資源・潜在力をどう活性化させ、地域振興に結びつけるかなどを考えました。

## 基調講演

### 「ほんとはすごい！ 地域ブランドのパワー」

電通九州地域開発営業部専任部長

岡部 博幸 氏



薩摩川内市には原石はたくさんありますが、よそに売るためにはその原石を磨かないといけません。原石を探すと同時に原石を磨き、宝にする方法が必要で、自分のまちのブランドとして消費者に届けることが大切です。薩摩川内市のイメージは果たして何でしょうか。日本一高い山は富士山ですが、日本で二番目に高

い山を答えられる人は少ない。目立つためには全国でナンバー1かオンライン1になる必要があります。薩摩川内市は新幹線の通過点ですが、通過点であってもブランドとして売っていく方法があります。ブランドとは、遠くても、高くてもわざわざ買いに来てもらえるもの。自分のところの原石を安く買いたたか

れ、よそで磨かれて高く売られるのは悔しい。生産者が汗と涙でつくった産物をきっちり自分たちの名前で売っていく、買っていただくことがブランド化の原点です。

生産者の収益を上げ、生産者が誇りをもって生産し、後継者が誇りをもって仕事を継いでもらうのがブランド化の一番の目的。これからの一次産品の生産地の生き方は、産地、加工地、消費地が一緒であること。「地産地消」の考え方は、産地でつくったものを産地で消費するというよりも、地域で産出したものをその地域の名前をつけて消費者のもとに

届けること。産地で付加価値を持たせて商品をつくり出すのがこれからの産地のやり方です。

観光においても物産においても、行政区分によるわがところ主義ではなく、広域の視点が必要です。合併をチャンスにお客は何を求めて来るのかを考え、よその人に喜んでもらえるコト・モノづくりが一市四町四村で共同スクラムを組む一番の材料になると思います。大地の恵み、太陽の恵み、海の恵み豊かな薩摩川内市の生産者・市民が自信を持って郷土を誇れて所得も上がる。そういったまちづくりに期待します。

## パネルディスカッション

### 「私たちに何ができるか ～活力・魅力ある 郷土づくり～」

・パネリスト

中俣 知大 氏(まちづくりフォーラム代表)

伊集院 睦子 氏(素敵発見隊長)

弓指 博昭 氏(県企画調整課長)

岡部 博幸 氏

・コーディネーター

渋谷 繁樹 氏(南日本新聞社編集委員)

中俣 薩摩川内市は車で三十分圏内で海、山、川、池、空のレジャーを体感できます。地域内の宝をまず自分たちが知り、共有財産だという意識を持てるようになることが大事です。民間企業にとってはビジネスチャンスが広がるわけで、いろんな

新しいビジネスに挑戦できるのではないのでしょうか。

伊集院 薩摩川内市のイメージを描きたいと地域内を回って気づいたのは、新しい市は元気を与えてくれ、パワーがあるということ。これをキーワードに「疲れたら薩摩川内に

いらつしやい」というメッセージを込めたキャッチフレーズを一般募集したらどうでしょうか。

**弓指** 薩摩川内市は、ある程度の都市機能を備えた市があり、それを取り囲むように歴史、伝統、自然、景観を持った町村があり、バランスがとれています。甌島が一緒になつてこの地区の魅力はさらに輝いてきます。さらに新幹線、南九州西回り道といった条件を生かせば、全国どこにもないブランド、素晴らしいまちができるのでは。



**岡部** 一市四町四村がひとつのちらし寿司になるのではなく、それぞれの特徴を出してにぎり寿司、松花堂弁当になるべきです。観光客は地元の人たちが食べているものを求めており、大きな弁当箱にわがまちの

一番得意なものや普通ものを普通にお客は季節によって変わる薩摩川内弁当を楽しみに来ます。はずです。

### 伊集院

これからは残すべきものの見極めをしつかりして官民一体となった支援が必要で、す。町内の小さな楽しみ、小さな喜びである行事を地域のネットワークで支え、行政も支援していく必要があります。

**中俣** 私たちは歩く道筋を見直す「薩摩街道保存会」を立ち上げ、二〇一〇年の九州新幹線全面開通に合わせて鶴丸城から小倉までつなげたという夢を持っています。ハンヤ節は川内あたりがルーツではないかという説があり、十一月に全国のハンヤ節を集めて川内で大会を開きます。薩摩川内市の伝統文化の継承に知恵を出すことで、地域内の交流が進み、地場産業も活性化されていくと思います。



**弓指** 海をまたがった合併なので交通面でのハンディ、格差は否めませんが、離島部の光ファイバー網の敷設など取り組みなければならぬ大きな課題です。甌島が持っている

豊かな自然や文化は、薩摩川内市が地域ブランドを確立していく上でバリエーションを持つ大きな素材になると思います。

**岡部** 看板が小さいと遠くの人には見えません。産地間競争は県同士の戦いになるので、県と一緒になつて作業していきたいものです。ファーマーズマーケットを見ると、お客の視点に立ち、お客の欲しがる

## お知らせ

### ●今後の法定合併協議会開催予定

#### ◆第二十二回法定合併協議会

九月三十日(木)午後三時から

川内市 ホテル太陽パレス

#### 協議内容

- ・市章候補協議
- ・平成十六年度決算見込み報告内容
- ・職務執行者

※会議は都合により変更される場合があります。事前に事務局にお問い合わせください。

### ●協議会は傍聴できます

合併協議会は傍聴できます。傍聴希望の方は、会場で所定の傍聴届に住所・氏名を記入し、傍聴証の交付を受けてください。傍聴証は会議開

ものを提供しているところが繁盛しています。地域ブランドづくりはお客の視点に立つことが大事です。

**渋谷** 薩摩川内市は宝をいっぱい持っています。それを生かすも殺すも皆さん方の視線の当て方、心の持ちようだと思います。「私たちに何ができるか」ではなく、「私たちは何をしようか」ということではないでしょうか。

催予定時刻の十五分前から先着順に交付。定員二十名。会場の都合で定員数が増減されることもあります。

### ●最新情報をホームページでどうぞ

川薩地区の市町村合併に関する最新情報を掲載したホームページを開設しています。アドレスは一面を参照ください。

### ●薩摩川内市「開庁式」を開催します

新市薩摩川内市の誕生を記念し、本庁・支所において開庁式を開催しますのでご参加ください。

#### 【本庁】

日時 平成十六年十月十二日

午前七時五十分から

場所 本庁正面玄関テラス

#### 【支所】

日時 午前八時から

場所 各支所正面玄関前等